

No. 1253

成人の日

総理府統計局の発表によると、今年成人をむかえた新しい成人は全国で150万人、一月十五日の成人の日には、それぞれ成人の門出を祝いました。

これは、ある観光バス会社のガイドさん達の成人式。ダルマに目玉を入れたり、植樹をしたり、記念行事がもりだくさん。いつもは案内する観光コースを、今日は先輩ガイドの案内で東京見物。明治神宮では、神妙に御祓いを受けました。

ガイドさんの一人、斎藤和子さんは新成人としての感想を「今の若者は世界へ、世界へと足をむけますけど、日本のよさがたくさん身近に残っているのですから、外国へ行くのは、それからでも遅くないと思うんですけど」と、ちょっぴり苦言。「もっと他の世界をたくさん見て、人間を豊かに形成したい」と抱負を語りました。

トヨタ、二度目の栄冠

— ラグビー日本選手権 —

ラグビー日本一を決める第15回日本選手権は、トヨタ自工と明治大学の間で1月15日国立競技場に5万の観衆を集めて行われました。試合開始と同時にトヨタは評判通りの押しで明治を圧倒します。しかし学生ナンバーワンの意地をかけた明治は見事なふんばりで日本選手権にふさわしい好ゲームを展開、トヨタは前半7分正面ラックから上田がサイド攻撃、明大の反則を誘い田中伸がPGを決めて先制。その後早いタックルでトヨタの攻撃を封じた明治はほとんどトヨタ陣内で試合を進めた。そして25分、ゴール正面でペナルティを得るとPGをねらわずスクラムから右へ展開、金谷が右スミに飛び込みトライ、角度のあるゴールも決まり逆転。後半、明治はFW、バックスー一体となった早いテンポで攻撃を繰り返す、押しぎみに試合を進めた。点差を広げる絶好のチャンスに砂村のPGは失敗、チャンスをつぶしました。地力にまさるトヨタはPGで同点にしたあと、26分、ラインアウトからラックになって出た球を赤間がトライ、そして35分田中のパントを植田が拾ってトライ、試合を決定づけました。明治も終了間際にトヨタのラインアウト後のラックから木村が執念のトライ。学生の意地を見せたが明治の進撃もここまで。結局20対10でトヨタが明治を振り切り、9年ぶり2度目の日本一の座に輝きました。